

2019年
平成31年
2月号

広報 たっこ

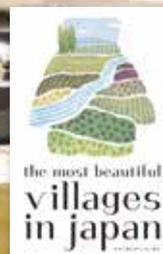
書き初めに挑戦！

1月8日、中央公民館で第45回新春書き初め大会が開催されました。詳しくは公民館情報（10ページ）をご覧ください。入賞作品は文芸コーナー（13ページ）にも掲載しております。

[CONTENTS]

- 今月の話題…………… 2
新年のあいさつ
- トピックス…………… 4
創業実践塾成果発表および新商品発表会
「命の授業」～腰塚勇人さん講演会～ ほか
- お知らせ…………… 7

- 公民館情報…………… 10
平成30年度生涯学習町民研修会のお知らせ ほか
- 図書館情報…………… 11
毎日元気に楽しく過ごすヒント
- 情報スクランブル…………… 12
学校の話 清水頭小学校 ほか



新年のあいさつ 田子町長 山本晴美



新年あけましておめでと〜うございます。

皆様方におかれましては、平成31年の新春を晴れやかな気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政に対しましては、あたたかいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私は田子町長を拜命してから、今月で8年目を迎えます。新年を迎えて心も新たに、誠実にそして、町民目線で、見える行政、親しまれる役場とするため、創意工夫をしながら行政運営に努力してまいりますので、本年もご理解、ご協力、ご参画並びにご助言、ご提言を昨年にも増してお願いを申し上げます。

平成31年度は、10年間のまちづくりの指針である「第6次田子町総合計画」の4年目の年となります。この計画は、各分野毎の目標を定め、目的とする田子町の将来

像を目指すもので、町の最も基本的かつ中心的な計画となるものであり、「人が輝き まちが輝く

活力と笑顔あふれるまち」を基本理念に掲げ、全ての人がやさしく、一人ひとりが輝き、「住んでよかつた」「住み続けたい」と思える魅力ある「ふるさと田子」を、町民の皆様とともに知恵と力を出し合い、町民と行政の「協働」の仕組みを進めてまいりますと存じます。

《主要な施策について》

平成31年度の主要な施策についてご紹介をさせていただきます。

◎「産業振興関連」について

・「農林畜産業の振興、6次産業化の育成、地域連携と交流事業」により、所得の向上と働きの場の確保・継続発展する産業を目指します。

【農業振興】

・野菜等の生産力強化として、農業用機械やパイプハウスの設備導入支援、農業の基盤となる農地の確保及び有効利用の促進等への支援により、省力化や作付面積の拡大を図るほか、生分解性マルチの導入推進を図ることにより、環境に優しい農業を展開します。

・認定農業者連絡協議会と連携し、農業の継続と活性化に向けた農業政策の検討を行い、農業経営の安定化を図りながら田子らしい農業の展開を推進して行きます。

・新規就農者や女性農業者との交流を進め、田子町農業の、時代に即した在り方を探り、意見交換や工夫と協力による生産力と商品力の向上を目指します。

【たっこにんにく】

・新たに商標登録された「美六姫」の出荷・販売が始まる予定です。「たっこにんにく」のブランド力を高めるため、生産者の皆様には、やり甲斐と自信を持っていただき、しっかりととした戦略を立てて推進

して行きます。

・生産者への各種支援については過去の実績等を踏まえ、事業内容等を見直し、必要な支援を検討するとともに、諸課題の解決に向けて大学等との域学連携を活用しながら、「たっこにんにく」の振興発展に取り組みます。

【林業振興】

・国・県をはじめ、三八地方森林組合や町林業再生協議会との連携をさらに深め、継続的な事業を展開します。

・新たに始まる森林環境譲与税の取り組みとして民有林の意向調査を実施し、林業再生に向けた事業の可能性について検討します。

【畜産振興】

・町内繁殖農家と肥育農家の連携を推進し、質の高い田子牛の生産と増頭に向けて、田子牛産地形成事業による支援を展開し、ふるさと納税や、にんにくとべごまつりなど、多くのファンが満足できる出荷体制の確立に向け支援します。

・町内にある堆肥生産団体と耕種農家との連携を進め、資源循環型農業による土づくりを奨励し質の高い農産物の生産を目指します。

【6次産業化】

・雇用の創出、所得向上、さらなる地域活性化を目指す「田子町6次産業化推進戦略」に基づき、力

強く継続・発展する産業を目指すため、その一つの手法である道の駅構想実現に向けた具体的な検討を重ね、関係機関及び町民の方々から意見をいただきながら重点的に展開してまいります。

【商工振興】

・創業に必要な知識の習得を目的とした創業実践塾や事業者の経営計画などに応じた個別相談の実施のほか、空き店舗の利用や商品の開発、販路拡大など創業を目指す方々が挑戦できる仕組みを展開します。

【観光振興】

・町のにんにく関連、三大イベントの充実を図り、田子町を楽しくていただきながら、観光施設の活用と維持に努め、加えて首都圏における交流イベントの開催を通して交流人口の増加を図るとともに、先人から受け継いできた景観・伝統文化などを守りつつ、町民の皆様が郷土に誇りを持って暮らして



いく環境づくりに努めます。

・「食」を観光資源のひとつと捉え、通年観光・交流人口の増大のため開発した「ガリステゴはん」を、観光資源として大切に育てていきます。また、現在2019年バージョンの「ガリステゴはん」の料理開発を進めております。

◎「教育」について

・田子中学生並びに田子高校生のアメリカガイルロイ市への語学研修は、グローバル時代に向け、子どもたちの学習意欲の向上と英語に親しみながら、異文化への理解を促すことを目的に、自己負担額を大幅に軽減し、派遣人数の枠を広げて実施します。

・語学学習では「TAKKO英語塾」を実施し、検定試験合格を目指す子どもたちのやる気と人財育成に向けた支援を行います。

◎「保健・医療・福祉」について

・健康管理や病気の早期発見・早期治療のため、健診会場や受付方法をのり直し、個別健診の受診期間を拡大することで、より受診しやすい環境づくりに取り組めます。

・介護や福祉、障害の相談業務については、高齢者だけではなく、子育て世代が抱える問題や就労問題などについても広くカバーするための総合的な相談窓口を設置し、あらゆる問題をワンストップで解決できるよう、地域包括ケア業務を強化します。

◎「その他の取り組み」について

【危機管理体制の強化】

・地震や風水害などの災害から、生命と財産を守り、互いに助け合い、被害を最小限に留めるため、自主防災組織の結成の推進を図ります。

・昨年、当町において土砂災害警戒情報が発表されるなど、いつ大災害が起きても不思議ではない状況であるため、机上訓練による町の本部機能の向上、災害対応の手順を確認するとともに、消防・警察・自衛隊等の関係機関、並びに消防団や自主防災組織と連携した総合防災訓練を実施し、危機管理体制の強化を図ります。

【(仮称)世紀越えトネルの実現】

・夏坂と大湯を結ぶ仮称世紀越えトネルの事業化については、これまで四半世紀余りにわたり活動を展開してまいりました。一昨年、

昨年と、青森・秋田両県で当該路線の調査が継続して行われたと伺っており、今後、議会や関係市町村と協力しながら、事業実施の具現化・加速化に向けて、より一層取り組んでまいります。

新年を迎え、31年度の取り組みについて申し上げます。近年の行政は行政で取り組む仕事から、町民と協力し共に働く「協働」が重要視されております。

山積する地域課題の解決のためには、皆様のご理解・ご協力・ご参画が必要・不可欠であり、申し上げました様々な取り組みは、現在の田子町に必要かつ、将来への展望に欠かせないものであり、住民の皆様と心一つに取り組む事でも実現できるものと認識しております。

また、「ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち」の基本目標に掲げている、最も大切なことは、まず、「人が輝くこと」であります。

輝かしい新年が町と町民の皆様にとつて、生き甲斐に溢れ、希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう念願申し上げます。新年のあいさつといたします。

本年もよろしくお願いいたします。

創業実践塾成果発表 および新商品発表会

(※写真1・2)

12月6日、中央公民館で「田子町創業実践塾、田子町6次産業化戦略と連動して開発に取り組んだ成果報告および新商品発表会」が行われました。これは、創業をしようとしている方を対象に、創業のための知識・技術等を習得する機会を創設し、田子町内での創業の促進を目的とした事業です。

ことです。「ポマードをイメージして広口の瓶を選びました。美容師が加工食品を開発することにより、他の事業者の刺激になればと考えています」と話していました。

ナイターバレー「田子土曜会」優勝！

(※写真3)

今回塾生5名が成果商品や新商品の発表をし、塾で学んだことを活かして開発・改良した、コーヒーマグや焼豚、ラーメンやグラスなどがお披露目されました。

12月6日、中央公民館で第42回田子町ナイターバレーボールリーグの閉会式が行われました。熱い試合を繰り広げたナイターバレーボールリーグ戦、およびクライマックストーナメントが閉幕し、優勝チームが次々とおり決まりました。

リーグ戦

◎優勝 田子土曜会

12勝0敗

◎準優勝 RE:O

11勝1敗

◎第3位 AAO

8勝4敗

ヘクライマックストーナメント ※リーグ戦上位8チームによる

Tapuko (タップコ) 代表の熊谷和広さんは、たっこにんにくを使用した半固体状ドレッシング「Tapuko The GAMMA (タップコ・ザ・ガマ)」を発表しました。使用する材料や粘度、匂いなどにこだわり、商品化に至るまで3年を費やしたとの

交通事故ゼロ最長日数更新中です！

田子町で交通事故ゼロが継続されている日数が、12月1日で1,864日に達しました。5年以上にわたり死亡事故が発生しておらず、歴代最高記録を更新中です(2019年1月7日現在で1,901日となっています)。これまでの歴代最高記録は1,863日(昭和59年5月29日～平成元年7月4日)でした。

「交通事故ゼロ2,290(にんにく)日」を目指して、一日一日の積み重ねを大切にしていきたいと思います。



役場前に掲示中です(写真は2019年1月7日現在)

上郷保育園発表会

(※写真4)

◎優勝 田子土曜会
◎準優勝 RE:O
◎第3位 ダールメン

12月8日、上郷保育園で平成30年発表会が行われました。はじめのことは、ひばり組の園児が自分の目標を発表し、元気にあいさつしました。

3歳〜5歳児のはと組、ひばり組、つばめ組による劇あそび「さるかに合戦」では、ステージを目一杯使



(写真1) 成果発表をする塾生の皆さん



(写真2) 「Tapuko The GAMMA」を発表した熊谷さん



(写真3) 優勝旗を受け取る田子土曜会の古田止智さん

い、それぞれの役になりきって演じていました。

最後の演目では、0歳児を除く全園児で手話を交えながら「ともだちになるために」を歌いました。1・2歳児のひよこ組の園児は年上の園児に習いながら手話に挑戦していました。

幕間には園児たちの普段の様子を映したスライドショーも流され、保護者は子どもたちの成長を感じられた一日となりました。

とどうなってしまうのかなど、税金の仕組みと大切さを学びました。

授業が終わると、職員が持参した1億円の見本(約10kg)を代わる代わる抱え、1億円の重さを体験しました。児童は「税金の種類がいろいろあるのは知っていたが、50種類もあることに驚いた」「信号機にも税金が使われているのは知らなかった」などと感想を述べていました。

税金の大切さを学ぶ

(※写真4)

12月11日、清水頭小学校で5・6年生の児童を対象に税金教室が行われました。これは、八戸税務署の事業で、希望のあった学校に役場職員が講師として出向き、授業を行うものです。職員から税金の種類、除雪や公共施設の建設のために税金がいくらか使われているのか説明を受け、アニメで世界から税金がなくなる

「命の授業」〜腰塚勇人さん講演会〜

(※写真6)

12月12日、田子中学校体育館を会場に、全国各地で「命の授業」を行っている腰塚勇人さんによる講演会が開催され、「ドリー夢(ム)メーカーと今を生きる」をテーマに、田子中学生と保護者及び田子高校生が、命の大切さと生き方について学びました。

腰塚さんは、中学校教員を務めていた2002年、

選挙管理委員会委員長並びに委員就任のお知らせ

平成30年12月19日より、築田重身さん(69・七日市)が委員長に、原成昭さん(69・石亀)が委員に就任しました。選挙管理委員会は選挙に係る様々な事項を協議・決定する役割を負います。



原委員



築田委員長



(写真4) 手話に挑戦



(写真5) 1億円を持ってみよう



(写真6) 講演する腰塚さん

スキー事故により深刻な四肢麻痺となり、一生寝たきりの宣告を受けましたが、家族や仲間の助けにより奇跡的な回復と職場復帰を果たしました。この自身の経験から、「入院中の辛く苦しい状況の中でも、自分の可能性を信じ、生きる光と希望を与えてくれた人」ドリー夢メーカーのおかげで今の自分がある。一番のドリー夢メーカーは、自分自身であり、誰もが誰かのドリー夢メーカーになれる」と語りました。

生徒は「苦しいときは助けてと言うようにしたい、自分とそのまわりのドリー

夢メーカーとの関わりを大切に過ごしていきたい」と感想を述べていました。

創遊村229スキーランド安全祈願祭

(※写真7)

12月16日、創遊村229スキーランドで安全祈願祭が行われ、関係者20余名がシーズン中の無事故を祈願しました。これは、町の委託を受けてスキー場を運営している創遊村229スキーランドを愛する会(釜淵

清嗣会長)が毎年行っているものです。

今年度も創遊村229スキーランドは、平日はナイターのみで午後5時～9時45分まで、土曜日は午前9時～午後9時45分まで、日曜祝日は午前9時～午後4時までの営業となります。

尾形さんがチャンピオン賞受賞、枝肉研究会褒賞授与式

(※写真8)

12月25日、第15回三戸地

方黒毛和種改良組合枝肉研究会褒賞授与式が、池田ファームで開催されました。

褒賞授与式に先立ち、三戸食肉センターで審査会があり、同研究所に所属する三戸地方の肥育農家から全21頭が出品され、厳正な審査により各賞が選ばれました。

田子町の入賞は次のとおりです。

◎チャンピオン賞(バラ厚賞も受賞)「栄光安」号
尾形欣典(種子)

☆学童だより すくすく館上郷分館

田子町社会福祉協議会
☎32-4045

クリスマス会&ケーキ作り

12月22日、クリスマスにちなんで昼食はオードブルをいただきました。一番人気は、今年もやっぱりフライドポテト! 食欲をそえられるおいしそうなオードブルに箸が止まらず、会話をしながらおいしさで笑顔いっぱいになりました。



クリスマス会は6年生が中心となり、ひとりひとり手作りのクリスマスカードをチケットとして入場。カード交換や段ボールそり競争、いす取りゲームで『おやつリユク争奪戦』を行い、楽しいひと時となりました。



おやつは、ロールケーキを積み上げてツリーに見立てた『クリスマスツリーケーキ』。好きな食材をトッピングして食べました。みんな大好き抹茶パウダーでおいしさ倍増!

満足げな顔でおやつリユクを背に帰ってきました。もう来年が待ち遠しい~♪

(担当&原稿:板橋)

みんなで食べよう! 超かんたん、野菜料理

大根入りポトフ

(材料)

(キャベツ、玉ねぎ、にんじん、大根) 合わせて300g、鶏肉または豚肉40g、コンソメ小さじ1/3、醤油小さじ1/2、塩少々、黒こしょう少々

(作り方)

①野菜を好みの大きさに切る。鶏肉も大きめの一口大に切る。※いつもの煮物よりも大きめの大きさが目安です。



②キャベツ以外の材料とかぶるくらいの水を鍋に入れ、火が通るまで煮る。

③調味料を入れ、キャベツも加えて好きな柔らかさになるまで煮る。

④器に盛り、黒こしょうを振りかけたらできあがり。

☆大根は消化を助け、腸の働きを整えます。

ごちそうが続いた後におすすめの料理です。

☆鶏肉や豚肉はソーセージなどの加工品よりも添加物が少なく、体に優しい味わいになります。(地域包括支援課栄養士 岡崎)



(写真7)今シーズンの安全を祈願



(写真8)受賞された尾形さん

■平成31年 所得申告相談受付のお知らせ（印鑑、通帳が必要です）

★★★ 今年もマイナンバーが必要です。★★★

通知カード（番号付住民票）＋身分証明書（運転免許証、パスポート等）もしくはマイナンバーカードをご持参ください。

午前受付 **8時45分～11時** 午後受付 **1時～4時**

会場	月日	曜日	対象行政区	
			午前	午後
上郷公民館 研修室	2月12日	火	関	夏坂
	2月13日	水	道前・嘉沢	山口
	2月14日	木	遠瀬・水亦	新田
	2月15日	金	石亀・杉本	茂市
	2月18日	月	道地	【上郷地区全域】
中央公民館 研修室	2月20日	水	明土平・上相米	根渡・柴倉
	2月21日	木	上風張・風張・南風張	宮野・細野
	2月22日	金	雀ヶ平	野面・極ノ実
	2月25日	月	飯豊	原
	2月26日	火	【田子町内全域】	
	2月27日	水	川向・川代	椋山・袖平
	2月28日	木	清水頭・干草場	長坂
	3月1日	金	西館野	上野
	3月4日	月	矢田郎	野月
	3月5日	火	【田子町内全域】	
	3月6日	水	野々上	池振・野畦沢
	3月7日	木	下田子・舞手	向山・衣更
	3月8日	金	七日市	種子
	3月11日	月	下本町・塚ノ上ミ	サンモール
	3月12日	火	北側・南側	中本町
3月13日	水	【田子町内全域】		
3月14日	木			
3月15日	金			

▼農業・営業申告をされる方へ

事業に係わる販売額や経費などの申告の場合は、1年間の合計額を書いた「**収支内訳書**」または帳簿を提出していただきます。

ただし、農産物・葉たばこ・肉用牛・農機具の「**販売証明書**」は確認しますので、ご持参ください。

▼給与・年金所得のある方へ

所得税の申告をする場合は、源泉徴収票の原本が必要です。

なくされた時は、早めに支払者から**再発行**を受けてください。

▼寡婦（寡夫）の方へ

配偶者と死別または離婚した場合、寡婦控除等の対象となる場合がありますので、申告時には自ら申し出て確認を受けてください。

▼ふるさと納税をした方へ

ワンストップ特例制度をご利用しない方または6箇所以上の自治体に寄附なされた方は「**寄附金受領証明書**」をご持参ください。

▼その他（該当する場合）

身体障害者手帳
国民年金納付領収書
各種保険料控除証明書
おむつ使用証明書 など

医療費控除の対象となる領収書は全て確認しますので、ご持参ください。申告前に、人ごと・病院ごとの合計額を書いていただきます。

※日程はデータ放送でも確認できます。

問 役場税務課税務グループ（中村） ☎20-7112

「障害者控除対象認定書」についてのお知らせ

介護認定を受けている65歳以上の方で、身体の障害または認知症の状態が認定基準に該当している場合は、障害者手帳等を持っていなくても「**障害者控除**」や「**特別障害者控除**」を受けることができます。

（対象者は、所得税や住民税の申告時に、その本人及び認定を受けた人を扶養している方です）

◎田子町の方が、町内の公民館で申告する場合は、認定書を準備する必要はありませんが、申告時には自ら申し出てください。（申し出がないと控除できません）

◎税務署や他の市町村で申告する場合は、事前に認定書の交付を受けなければなりません。また、手続きの際、介護保険被保険者証や印鑑を使用しますので、電話でお問い合わせください。

問 役場地域包括支援課（せせらぎの郷）（澤口） ☎20-7100

■ 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

1. 医療費通知について

国の税制改正により、平成30年1月1日から医療費通知を確定申告に活用できるようになりました。広域連合では、今回発送する医療費通知から新たに自己負担相当分を記載し、平成30年からの確定申告時の医療費控除に活用していただけるよう様式を改正いたしました。

なお、対象となる期間が平成30年1月診療分から12月診療分となることから、通知書がお手元に届くのは最短で平成31年2月末頃となります。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。



2. 事故にあったとき

(第三者行為による傷病届等について)

交通事故及びけんか等、第三者の行為による負傷で、健康保険で治療を受けたときには「第三者行為による傷病届」を役場住民課福祉給付グループへご提出くださいますようお願いいたします。

問 青森県後期高齢者医療広域連合

☎017-721-3821

問 役場住民課福祉給付グループ(山内) ☎20-7119

■ 家畜(牛・馬・めん羊・豚・鶏等)を飼育しているみなさまへ

家畜を飼っているすべての方は、家畜の伝染性疾病的の発生予防やまん延を防止することを目的とした「家畜伝染病予防法」により、年1回、その飼育状況を報告することが法律で義務付けられ、罰則もあります。

平成31年2月1日現在の状況について、報告書を作成し提出してください。

▼対象家畜 牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏(シャモ、チャボ、ウコッケイ等を含む)、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥
なお、愛玩用(ペット)であっても報告が必要です。

▼報告様式 八戸家畜保健衛生所または役場産業振興課で配布(八戸家畜保健衛生所ホームページからダウンロード可)

▼提出期限 2月28日(木)まで

▼提出方法 郵送、ファクシミリまたは持参

▼提出先 役場産業振興課

問 八戸家畜保健衛生所

☎0178-27-7415 FAX 0178-27-7418

問 役場産業振興課農業振興グループ(袖村)

☎20-7115 FAX 32-4294



■ 病後児保育室『のんびり』のご案内

田子保育園では、平成29年7月から病気の回復期にあつて集団生活が困難であり、保護者がやむを得ない事情により家庭で保育できない場合、その児童を一時的に預かる病後児保育を実施しています。病後児保育を利用できるのは、急性期を過ぎた状態(回復期)で且つ感染期を過ぎていることが条件となります。

▼利用時間 月曜日～土曜日

午前8時30分～午後5時30分まで

(前後30分延長可能)

▼利用年齢 生後6ヶ月～小学校3年生までの児童

▼料 金

(1)田子保育園入園児 1時間150円

(給食は消化によいものを用意します)

(2)田子保育園入園児以外の子ども 1時間200円

(お弁当持参または、給食利用代200円)

(3)小学生の児童 1時間250円

(お弁当持参または、給食利用代200円)

※食物アレルギーのある子どもはお弁当持参

●利用の流れ

1. 登録

病後児保育利用者登録書を提出してください。

※利用される方はあらかじめ登録が必要です。(無料)

2. 予約

予約は田子保育園(☎32-2229)へ

定員(3名)がありますので、空き状況を確認してください。

※実際に利用するときは、病後児保育事業利用申込書を提出してください。

3. 診察

主治医に病後児保育ができるか相談し、できる場合には田子保育園病後児保育事業情報提供書を持参し記入してもらってください。(田子町の医療機関は情報提供書の発行が無料ですが、町外の医療機関では取り扱いが異なることがありますので当該医療機関にお尋ねください。)

4. 病後児保育室

必要書類を提出してください。衣類などの持ち物の確認をします。

5. お迎え

保育中のお子さんの様子を「連絡票」でお知らせします。



6. 利用料支払い

お迎えのときに利用料をお支払いください。

詳しくは田子保育園にお問い合わせください。

問 田子保育園 ☎32-2229

農地の借受希望者と、農地の貸付希望者を募集中～農地中間管理事業で有利に規模拡大を！～

公益社団法人あおもり農林業支援センターでは、県から農地中間管理機構の指定を受け、農地中間管理事業を実施しています。この事業は、経営規模を縮小する出し手農家から機構（支援センター）が農地を借り入れ、公募に応募し公表された規模拡大する受け手農家に、まとまった農地を貸し付けるものです。

受け手の公募は、機構（支援センター）のホームページに掲載するほか、産業振興課、農業委員会の窓口に応募用紙を用意しております。

農地の借受希望者及び貸付希望者について、随時募集中です。詳細については、産業振興課、農業委員会、または支援センターへご相談ください。

問 公益社団法人あおもり農林業支援センター
☎ 017-773-3131

問 役場産業振興課農業振興グループ（袖村）
☎ 20-7115

問 田子町農業委員会 ☎ 20-7120



赤十字活動をご支援ください

日本赤十字社青森県支部は、創立130周年を迎えたことから、昨年9月12日、青森市において、日本赤十字社名誉副総裁 秋篠宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、「青森県赤十字大会」を開催しました。本大会では、一堂に会した県内外の赤十字関係者等約800名が赤十字活動の更なる躍進を誓い合いました。

一方で、昨年は自然災害が多発し、北海道胆振東部地震や西日本を中心に甚大な被害をもたらした豪雨災害では、多くの尊い人命が失われています。

青森県支部では、北海道胆振東部地震の被災地に医療救護班ならびに被災者の心のケアを行う救護班を派遣したほか、救援物資の提供や義援金の受付を行うなど、物心両面にわたる支援活動を展開しています。

これら災害救護をはじめとする赤十字活動は、主に赤十字会員（社員）から寄せられる会費（社費）・寄付金を財源としています。130年の歴史を踏まえ、人々の「いのちと健康を守る」活動を推進する日本赤十字社青森県支部の活動をご理解いただき、田子町の住民のみなさまの赤十字会員（社員）への加入ならびに赤十字活動資金（会費・寄付金）のご支援について、よろしくご申しあげます。

問 日本赤十字社青森県支部組織振興課
☎ 017-722-2011

問 日本赤十字社青森県支部田子町分区 担当課
役場住民課住民環境グループ ☎ 20-7113

国民年金保険料免除等の申請について

保険料が納め忘れの状態、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」「納付猶予制度（50歳未満）」「学生納付特例制度」がありますので、田子町役場住民課福祉給付グループで手続きをしてください。申請書は窓口へ備え付けてあります。また、申請時点の2年1カ月前の月分までさかのぼって申請をすることができます。

失業等により保険料を納付することが経済的に困難になったものの、申請を忘れていた期間がある方は、役場住民課福祉給付グループまたは年金事務所へご相談ください。



問 役場住民課福祉給付グループ（山内） ☎ 20-7119

裁判員制度10周年記念 家族で考えよう！ 裁判員制度キャッチフレーズ募集について

裁判員制度は平成21年5月21日に「私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。」というキャッチフレーズでスタートし、まもなく10周年を迎えます。

この機会に「裁判員制度」について家族で話し、キャッチフレーズを考えてみませんか？

▼応募資格 青森県内在住の小学生（学年は問いません）

▼応募方法

- ・小学生1人につき1作品まで
- ・郵送またはお近くの裁判所に持参



詳しい応募方法については青森地方裁判所HPをご覧ください。<http://www.courts.go.jp/aomori/>

▼応募締切 2月28日（木）必着

▼応募先・問い合わせ先

青森地方裁判所 ☎ 017-722-5421

青森県最低賃金改正のお知らせ

青森県最低賃金が改正されました。金額は次のとおりです。

時間額 762円（平成30年10月4日から）

○青森県最低賃金は、青森県内で働く全ての労働者に適用されます。

○製造業と小売業の一部には、特定（産業別）最低賃金が定められています。

詳しくは、青森労働局ホームページからもご覧になれます。（<https://jsite.mhlw.go.jp/aomori-roudoukyoku/>）

問 青森労働局労働基準部賃金室

☎ 017-734-4114 FAX 017-734-5821

■行事等に関するお問い合わせは、田子町中央公民館 (☎20-7070 担当：小林)
または上郷公民館 (☎33-1811) までお願いします。

平成30年度生涯学習町民研修会のお知らせ

- ▼日時 2月17日(日)
開場 午後1時30分～ 研修会 午後2時～
 - ▼会場 中央公民館ホール
 - ▼演題 「Nobu と Toshi」
～田子が果たしてきた役割～
 - ▼講師 木村明彦氏
- ※詳細は後日配布されるチラシをご覧ください。
ご近所お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。

第45回新春書き初め大会

おめでとう！町長賞

池田優妃さん・大野萌愛さん

1月8日、中央公民館で第45回新春書き初め大会が開催され、今年は幼児から一般26名の参加がありました。参加者は講師の藤澤重信先生よりそれぞれの課題の手本を書きいただき、書き方の指導を受けて、筆を運んでいました。



▽町長賞

- 池田優妃 (田子小5、写真左)
- 大野萌愛 (田子小6、写真右)

▽文化協会長賞

- さとうぜん (田子幼)・菊地玲花 (ウルスラ中3)

▽公民館長賞

- 大野怜愛 (田子小1)・山市愛唯音 (田子小5)

▽金賞

- 土川響羽 (田子小1)・千葉堇 (清水頭小2)
- 高橋祐月 (田子小3)・村田結愛 (田子小3)

▽銀賞

- せきもとしゅんや (田子幼)・久保舞華 (田子小1)
- 平岡凜音 (田子小2)・村井初希 (田子小4)

▽銅賞

- さのあすか (田子幼)・菊地美伶 (田子小1)
- 村田煌向 (田子小1)・高橋彩乃 (田子小4)

※参加者の全作品を1月いっぱい中央公民館に展示してありますのでご覧ください。



ご成人おめでとうございます 平成31年田子町成人式

1月13日、平成31年田子町成人式が中央公民館で開催されました。艶やかな振り袖や袴、スーツに身を包んだ新成人62名が出席しました。

式典では、公民館館長からお祝いのことば、町長、議長から激励のことばをいただきました。最後に新成人を代表し、釜淵裕寛さんが、お礼のことばを述べました。式典後、実行委員会主催の祝賀パーティーが行われ、恩師や友人との再会を喜び、近況等を語りながら和やかな時間を過ごしました。



みんなでチャレンジ 公民館講座のお知らせ

●生花講座

- ▽とき 2月16日(土) 午後6時30分
- ▽ところ 中央公民館研修室
- ▽材料費 1,000円程度

●ストライキングエクササイズ

- ▽とき 2月20日・27日(水) 午後6時30分
- ▽ところ 中央公民館ホール
- ▽持ち物 汗ふき用タオル・飲み物
- ▽参加料 無料

※詳細はチラシをご覧ください。

●フラワーアレンジメント教室

- ▽とき 2月26日(火) 午後7時～9時
- ▽ところ 上郷公民館研修室
- ▽材料費 3,000円前後

※新規の講座情報は、そのつどT C Vデータ放送やチラシ等でお知らせします。

図書館情報

毎日元気に楽しく過ごすヒント

～青森県立保健大学附属図書館の本～

●「健康に関する本」特集

寒さが厳しい季節です。図書館では青森県立保健大学附属図書館から「健康に関する本」44冊を借用し展示・貸出します。頭と体を使って毎日元気に過ごすヒントを探してみませんか？

- 健康寿命の延ばし方
- なにをどれだけ食べたらいいの？
- 「健康食品」ウソ・ホント
- 入浴の事典
- 「動かない」人は病む
- 発達障害のわたしのこころの声

●第57回「読書マラソン」終了

小学生以下の子どもたちが挑戦した「読書マラソン」（期間中に何冊の本を借りて読むことができるか自分の記録に挑戦する）が終了しました。今回の参加者は34名。入賞者は27名でした。1等賞（6日間で35冊読破）は次のみなさんです。おめでとうございます。

▼1等賞（17名）

千葉堇、千葉陽向、土川響羽、土川陽葵、久保ひとは、久保あかり、尾形穂佳、関本俊也、佐藤颯祐、佐藤善、佐藤和、高橋彩乃、高橋祐月、高橋昂大、澤頭新太、平岡凜音、平岡愛唯



読書マラソン表彰式

図書館おやすみカレンダー

2019							2月	
日	月	火	水	木	金	土		
					1	2		
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28				

▼色の濃い日が休館日です。

田子町立図書館(担当:川村)
☎20-7221

図書館の開館時間

水～土 午前10時～午後6時
日曜日 午前10時～午後4時

2月の図書館行事

- ▼2/6(水) 午前10時
ブックスタート/せせらぎの郷
- ▼2/10(日) 午前10時30分
本の読み聞かせととしよかんクラブ
「いのしし」の折り紙づくり
- ▼2/20(水) 午前10時
セカンドブック/せせらぎの郷

※2/23(土)の「本の読み聞かせととしよかんクラブ」はお休みです。

図書館休館日

毎週月曜日・火曜日・祝日・第4木曜日
(館内整理日)

新刊案内

●情報、まちづくり

- ▽学びを結果に変えるアウトプット大全/002カ
- ▽凡人のための地域再生入門/601キ
- ▽奇跡の集落/611キ

●仕事、手芸

- ▽女子のための「手に職」図鑑/366ハ
- ▽ダンボール織り機で、手織りざぶとん/594カ
- ▽ヒンメリをつくる/711ヒ

●歴史・時代小説

- ▽鼠、恋路の闇を照らす/赤川次郎/913ア
- ▽草々不一/朝井まかて/913ア
- ▽分断/百万石の留守居役12/上田秀人/913ウ
- ▽未だ行ならず/上下/空也十番勝負青春篇5/佐伯泰英/913サ
- ▽御内儀の業/口入屋用心棒43/鈴木英治/913ス
- ▽柳は萌ゆる/平谷美樹/913ヒ
- ▽阿蘭陀おせち/料理人季蔵捕物控32/和田はつ子/913フ

●ミステリー・警察小説など

- ▽アトラス/天命探偵ネクストギア3/神永学/913カ
- ▽知覧と指宿枕崎線の間/西村京太郎/913ニ
- ▽昨日がなければ明日もない/宮部みゆき/913ミ
- ▽烙印/上下/パトリシア・コーンウェル/933コ

●そのほかの小説など

- ▽フーガはユーガ/伊坂幸太郎/913イ
- ▽それでも空は青い/荻原浩/913オ
- ▽常設展示室/原田マハ/913ハ
- ▽はつ恋/村山由佳/913ム
- ▽熱帯/森見登美彦/913モ

●エッセイ、手記など

- ▽おつかれ女子のウェルネス手帳/159オ
- ▽私が選んだもので私は充分/ドミニック・ローホー/159ロ
- ▽命の限り、笑って生きたい/瀬戸内寂聴/914セ
- ▽お別れの色/吉本ばなな/914ヨ
- ▽おばちゃん介護道/山口恵以子/914ヤ
- ▽がんに生きる/なかにし礼/916ナ

警察署コーナー



●除排雪中の事故を防止しよう
除排雪中の事故を防止するため、次のことに気をつけましょう。

○屋根の雪下ろしは、「命綱をつける」「滑り止めの付いた靴を履く」などとして、転落防止に十分注意しましょう。また、転落時に備え、屋根の下には雪を残して作業をしましょう。

○はしごは確実に固定し、上り下りの際の転落事故防止に十分注意しましょう。

消防署コーナー



●住宅用火災警報器の維持・管理について
住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過しています。古くなると、部品の寿命や電池切れ等で火災を感じない恐れがあります。10年を目安に新しいものに交換しましょう。

○お手入れ方法
ほこり等が付くと感知しづらくなるため1年に1回程度布等で乾拭きするか、掃除機でほこりを吸う。

○点検方法
警報器のボタンを押す、ひも付きのものは、ひもを引くことによりテスト音が

止に十分注意しましょう。
○除雪作業は、家族や近所の人にも声をかけて、できるだけ複数で行いましょう。
○軒下からの屋根の雪落としは、雪の下敷きにならないよう十分注意しましょう。
○晴れの日は屋根の雪がゆるんでいるので、特に注意しましょう。

○除雪機の点検は、必ずエンジン停止してから行いましょう。

▼三戸警察署田子警察官駐在所 ☎32-3109

鳴る。鳴らないときは電池がきちんとセットされているか、電池切れではないかを確認。

●電池交換時期の確認
電池切れのときは音声または「ピッピッピッ」等の音が鳴る。

電池の寿命は機種で異なるため、本体裏側の表示や説明書で確認。

○警報が鳴った時の対処法
・火事の場合は大声で周囲に知らせ119番通報。
・消火が難しい場合は速やかに避難。

・火事でない場合は警報器の音をとめて、本体を確認。

▼三戸消防署 田子分署 ☎32-3104

2月の主な保健・介護予防事業予定表

1 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	19 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30
3 (日) 介護職員初任者研修 (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05	20 (水) こども健診 (せせらぎの郷) 午前9:30～
5 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	21 (木) 自立支援相談窓口 (せせらぎの郷) 午後1:00～4:00 あとから体が楽になる運動教室 (せせらぎの郷) 午後2:00～3:00
6 (水) 乳児健診 (せせらぎの郷) 午前10:00～	22 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30 認知症予防教室 (せせらぎの郷) 午後1:30～3:30
7 (木) 血圧を下げる教室 (せせらぎの郷) 午前10:00～午後1:00 あとから体が楽になる運動教室 (せせらぎの郷) 午後2:00～3:00	24 (日) 介護職員初任者研修 (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05
8 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30	26 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30 保健推進員学習会 (せせらぎの郷) 午前9:30～10:30 あとから体が楽になる運動教室 (せせらぎの郷) 午後2:00～3:00
10 (日) 介護職員初任者研修 (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05	27 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30～ 子宮頸がん予防接種 (中1) (せせらぎの郷) 午後3:30～4:30
12 (火) 生きがい倶楽部 (老人福祉センター) 午前10:00～午後2:30	28 (木) デイケア (せせらぎの郷) 午前9:30～午後1:00
13 (水) 予防接種 (せせらぎの郷) 午前10:30～	
14 (木) デイケア (せせらぎの郷) 午前9:30～午後1:00 あとから体が楽になる運動教室 (せせらぎの郷) 午後2:00～3:00	
15 (金) 生きがい倶楽部 (上郷公民館) 午前10:00～午後2:30 ことばの教室 (田子保育園) 午前9:00～正午	
17 (日) 介護職員初任者研修 (せせらぎの郷) 午前9:45～午後5:05	

TCV(田子町ケーブルテレビジョン)からのお知らせ

- サポートセンター (月曜～金曜 午前9時～午後5時) ☎0120-557-759 (祝日を除く)
加入の申込・変更・廃止、ケーブルの移設などの際にご連絡ください。
- 故障受付 (24時間) ☎0120-262-750
テレビが映らない、などの故障時にご連絡ください。



町の人口

平成30年12月31日現在

世帯数/2168 (-1)
人口/5540 (-6)
男/2685 (-2)
女/2855 (-4)
()内は前月比です

結婚

- 大下勝利 (下本町) 佐藤江里子 (下本町)
- 個人情報保護のため掲載を省略しています

お悔やみ

- 滝上春治 (81歳) 雀ヶ平
 - 岩間十三男 (80歳) 関下
 - 戸田花子 (72歳) 衣更
 - 久保浩一 (81歳) 関下
 - 細谷ツル (91歳) 細野
 - 古館ミヅ (91歳) 道地
- ※ ()内は享年、()のあととは行政区です

学校の話題 清水頭小学校

本校は昨年、学校創立142周年を迎えました。また、父母と教師の会（PTA）は、設立105年を迎えました。地域の方に見守られ、支えられて今日に至っています。昨年も、運動会、校内相撲大会、学習発表会など、たくさんの方に参加していただきました。

「山には木を 人にはまごころを」を校訓としている本校は、特に環境整備に力を入れており、学校周囲の草刈りなども地域の方がしてくださいます。婦人会の方々の、広い花壇もあつという間にきれいにしてくれる早朝草取りは、運動会前や休み明けの時期に行っていただき大変助かっています。

一昨年、校舎の大改修のため、一度取り払っていたPTA100周年の看板を、12月9日に、尾形孝太郎さん親子と、千葉健一郎さんが設置してくださいました。



学校のために建ててくださったことに心から感謝しています。

また、12月10日には、川代地区にお住まいの山田としさんを講師としてお迎えし、山田さん自身が育てた小豆や米粉を用いて全校でなべこ団子を作りました。自分たちで作って食べるなべこ団子は格別においしくて、おかわりする子が続出しました。郷土のおやつを作り、味わう貴重な体験ができ、幸せなひとときを過ごすことができました。

こうして昨年も、地域ぐるみで子どもを育てるといふ清水頭愛の下、地域の方に支えられ学校生活を送ることができました。

これからも、皆様の「まごころ」を受け継ぎ、感謝の心を忘れずに、さらなる飛躍をしていきます。

（原稿・画像提供 清水頭小学校）

書道

第45回新春書き初め大会入賞作品



◎町長賞
池田優妃
(田子小5)



◎町長賞
大野萌愛
(田子小6)



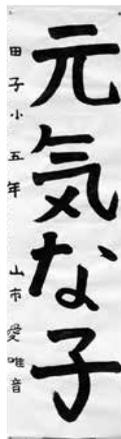
◎文化協会賞
菊地玲花
(ウルスラ中3)



◎文化協会賞
さとつせん
(田子幼)



◎公民館賞
大野怜愛
(田子小1)



◎公民館賞
山市愛唯音
(田子小5)



編集後記

新年明けましておめでとうございます！ 2019年が始まり早1カ月が経とうとしています。今年も猪突猛進という言葉が年明けから様々なところで耳にしましたが、休憩も忘れずにお仕事・学業頑張ります！ まだ寒い日が続きます、風邪対策もしっかりとしましょうね。

さて、今回は、腰塚勇人さんの講演会「命の授業」(5ページ)を取材しました。「自分にとってのドリー夢メーカーは誰か」「自分は誰にとつてのドリー夢メーカーになっているのか」とも考えさせられる内容でした。あなたの場合は誰が思い浮かびますか？ 考えてみてはいかがでしょうか。

編集後記まで読んでくださる方からときどき感想をいただくことがあり、その言葉に力をいただいております。新年もよい広報誌となるよう頑張ります！

(広報担当 まつやま)

